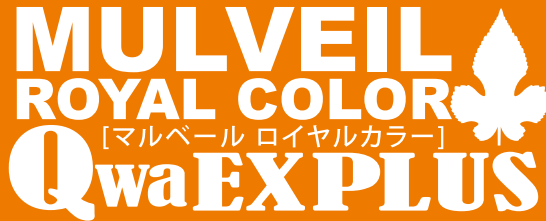


泡立てるように手で染められる



男女 共通白髪染め

医薬部外品

使用説明書

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

使用上のご注意

① 次の方は染毛しないでください。

1. 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
2. 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
3. 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
4. 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
5. 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
6. 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
7. 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

② 染毛前のご注意

1. 染毛の2日前(48時間前)には手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト剤塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。

2. 頭髪以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。
3. 眉毛、まつ毛に使用しないでください。染毛剤が目に入るおそれがあります。
4. 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
5. 染毛の前後1週間はパーマネントウエーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

③ 染毛時のご注意

1. 染毛剤は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
2. 換気の良いところで使用してください。
3. 必ず同封の手袋を着用してください。
4. 染毛中に入浴しないでください。汗やしずく等で染毛剤が目に入るおそれがあります。
5. 染毛剤が顔、首筋等につかないようにしてください。染毛剤がついたときは、直ちに水で洗い落とししてください。
6. 染毛剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
7. 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに染毛剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
8. 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。
9. 肌に異常が生じていないかよく注意して使用してください。肌に合わない時、使用中に赤み、はれ、かゆみ、刺激、白抜け(白斑等)や黒ずみ等の異常が出た時、直射日光があたって同様の異常が出た時は使用を中止し、皮膚科医へ相談してください。使い続けると症状が悪化することがあります。

④ 取り扱い上のご注意

1. 混合した染毛剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。
2. 混合した染毛剤は保存しないでください。

⑤ 保管上のご注意

1. 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
2. 高温や直射日光をさけて保管してください。
3. 認知症の方などの誤食等を防ぐため、置き場所にご注意ください。

ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪が生え際・顔・首筋などに、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツなどの症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかずに、又はかぶれの症状が軽いため使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重篤なアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

● その他のご注意

1. 次のような場合は衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。
 - ・髪がぬれているとき。(運動などで多量の汗をかいたとき、雨にぬれたとき、洗髪後など)
 - ・育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの頭髪用品を多量に使用したとき。
2. 染毛剤が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。

● 他に守っていただきたいこと

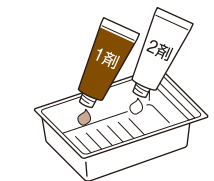
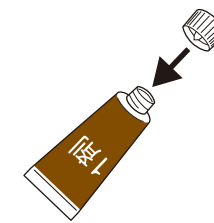
1. 幼児には使用しないでください。
2. 公衆浴場などでのご使用は、汚れなどで周囲の方の迷惑になりますので、ご遠慮ください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

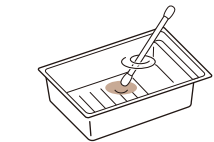
染毛の2日前(48時間前)には、次の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト剤塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化により、かぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。

① テスト剤をつくります。

1. 1剤のチューブのキャップをはずします。キャップの天面の突起部分をチューブの口に差し込み、チューブの口に穴を開けます。
2. 1剤と2剤を同量(各5mm位)トレーに出します。



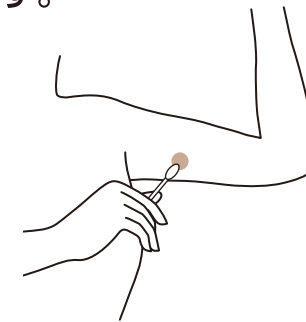
3. 綿棒で混ぜ合わせます。



※1剤と2剤のチューブのキャップは間違えないように、必ずきっちり閉めてください。

② テスト剤を塗ります。

テスト剤を腕の内側に10円硬貨大に薄く塗り、自然に乾燥させます。(塗った部分が30分位しても乾かない場合は、ティッシュペーパー等で軽く拭き取ってください)



③ そのまま触れずに48時間放置します。(時間を必ず守ってください) テスト液を塗ったところは絆創膏等で覆わないでください。

※パッチテストをした当日は、なるべく入浴しないでください。やむをえず入浴する場合は、パッチテストの部分をぬらしたり、こすったりしないでください。

④ テスト部位に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手等でこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト剤を洗い落としとして染毛しないでください。

⑤ 48時間経過後、異常がなければ染毛してください。

※パッチテストをした部分は、テスト後や入浴時にこすらずにぬいに洗い流してください。

※パッチテストに使用したチューブは、キャップをしっかりと閉めてください。1剤のクリームの先端部が黒っぽくなっていても、ご使用いただけます。

※テスト剤をつくった後のトレーはきれいに洗ってください。

箱に入っているもの



準備するもの



使用の手順

★使用上のご注意をよく読みましたか？
★皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は行いましたか？

使用前のご注意

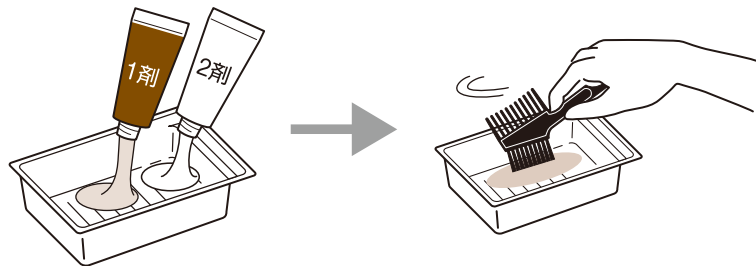
- ◎毛髪の汚れがひどい場合や、ヘアスプレーやワックスなどの整髪料をご使用の場合、一時着色料や金属粉などが髪についている場合は、染毛をする前日にシャンプーしておいてください。(リンスやコンディショナー、トリートメントは使用しないでください)その他の場合にはシャンプーする必要はありません。
- ◎染毛後パーマントウェーブをかけることもできますが、髪のため健康のため染毛の1週間前にすませるか、染毛してから1週間たってからかけてください。
- ◎眼鏡やコンタクトレンズ、イヤリング、ピアス、指輪、ネックレスなどの金属物は、染毛中ははずしてください。
- ◎染毛中は金属製のクシ、ヘアピン、ヘアークリップなどその他金属のものは使用しないでください。
- ◎白髪染めですので、黒髪を明るく染めることや、ヘアカラーやヘアマニキュアなどで染めた髪をその色より明るく染めかえることは困難です。
- ◎他のヘアカラー等をご使用されていた場合、きれいに染まらないことがあります。
- ◎入浴中の使用はさけてください。
- ◎寒いと染まりにくいので、暖かい場所(20℃以上)でお使いください。
- ◎髪が長い方や、パーマをかけている方は、髪のからまりや引っかかりを抑えるため、染色前に髪をとかしておくことをおすすめします。

使用前の準備

- ◎汚れてもかまわない衣服に着替え、同封のケープを肩にかけてとめます。
- ◎同封の手袋をはめます。(手の皮膚や爪も染まりますのでご注意ください)
- ◎床や洗面台を汚さないよう、周りに新聞やビニールなどを敷いてください。(衣服や床、たたみ、カーペット、じゅうたん、壁、家具などに染毛剤が付着すると、色が落ちないので充分ご注意ください)
- ◎染毛剤がお肌についても落ちやすくするため、水をはじくクリームをフェイスライン、えりあし、耳のまわりに塗ることをおすすめします。(クリームが髪につくと、染まりが悪くなりますのでご注意ください)男性の場合、もみあげの周囲の皮膚は染まりやすいので、クリームを塗るようにしてください。
- ◎違う番号、色名の商品と混合しないでください。
違う2つの色を混ぜてもその間の色にはなりません。

1. 染毛剤をつくる

1剤と2剤を髪の長さに合わせ、**必要な量(同じ数)**をトレーに出し、コームのはけ部分でよく混ぜます。※1剤のクリームの先端部が黒っぽくなっていてもご使用いただけます。



●ご使用量の目安(初めて染められる方・男女共)1剤と2剤、各1本で1セットです。

ベリーショート	ショート	セミロング	ロング	リタッチ
1セット	2セット	2セット	3セット	1セット

※スーパーロングの場合は本品をもう1箱ご用意ください。

2. 髪全体を染める場合

1. 髪を濡らして、タオルドライします。(髪の汚れがひどい場合や整髪料等を使用している場合は軽くシャンプーしてください。リンス、トリートメントはしないでください)



- ※髪の根元に水分が多く残らないようにタオルドライしてください。
- ※髪の多い方、長い方、パーマをかけている方はコームで髪の毛をとかしてください。

2. 手袋をはめて、コームのはけ部分で髪のはえぎわなどの**白髪の目立つところから**、混ぜ合わせた染毛剤を塗ります。



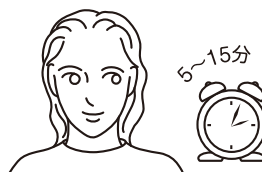
- ※コームの柄の先で髪を分け、液を髪の根元から塗るようにしてください。
- ※後ろ側の髪はえりあしの根元部分からつけはじめます。
- ※白髪の多い部分は、液を多めにつけてください。
- ※髪の多い方、長い方は前頭部・両サイド・後頭部・えりあしの5つの部分にブロッキングするときれいに染められます。

3. 髪の根元から、**シャンプーする(少し泡立てる)ように**して、髪全体に染毛剤を行き渡させます。



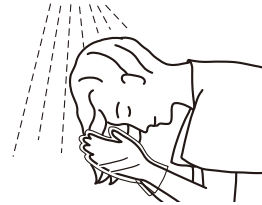
- ※髪につけた液が飛び散らないように注意してください。

4. 塗り終わったら、**そのまま5~15分程度**放置します。



- ※放置時間は5分で明るめに、15分で濃いめに仕上がります。
- ※仕上がりは、髪質、もとの髪色、白髪の量、室温、放置時間などにより異なります。
- ※太くてかたい髪、白髪の量が多めの方はイメージより明るめに、細くてやわらかい髪、白髪の量の少ない方は暗めに仕上がります。

5. 染毛剤が残らないように、色が出なくなるまで手袋をしたまま、**よくすすいでください。**



- ※すすぎ湯が目に入らないように特に注意してください。
- ※すすぎ湯が壁や床、浴槽などについた時は、すぐに洗い流してください。

6. 汚れてもかまわないタオルで拭いてください。

- ※すすぎが不十分な場合や、髪が濡れている場合に衣類や帽子、枕カバーなどに色移りすることがあります。
- ※ヘアスプレーやワックスなどの整髪料は、染毛後1時間以上過ぎてから使用するようにしてください。

3. 新しく伸びた部分を染める場合(リタッチ)



※2回目からも毎回必ず、皮膚アレルギー試験(パッチテスト)をしてください。

「1. 染毛剤をつくる」→「2. 髪全体を染める場合」と手順は同じです。ただし、液は**新しく伸びた部分にだけ塗り、髪の根元だけをシャンプーする(少し泡立てる)**ようにします。

次回からの染毛のために

保管方法

- 一度混ぜた染毛剤は再使用できません。残った場合は必ず捨ててください。
- コームやトレーなどの付属品を再使用する場合は、よく洗って保管してください。
- 染毛剤は低温や高温、直射日光のあたる場所を避け、常温で保管してください。

染める時期

- 髪は1ヶ月に1~1.5cm伸びます。いつも美しい髪色を保つために2~3週間に一度新しく伸びた部分を染め、2~3ヶ月に一度全体を染めることをおすすめします。
- 再度染毛される場合は、髪や地肌を傷めることがあるので一週間くらいの期間をおいてからご使用されることをおすすめします。

マルベール ロイヤル カラー エクストラ プラスで きれいに染めるために

- マルベール ロイヤル カラー エクストラ プラスは放置時間によって染め上がりの色を調節できます。
- 一度濃い色に染めると、明るい色に染め直すことは困難ですので、最初は放置時間を短めにして明るめの色にしましょう。
- 室温により染まる時間が変化しますので、寒い時期は目安の放置時間より長めに、暑い時期は放置時間を短かめにしましょう。

染め上がりの色と放置時間の目安 (室温25℃前後)

放置時間	色	ダークブラウン	ブラウン	ライトブラウン	レッドブラウン
5分					
		↓	↓	↓	↓
15分					

※これは印刷イメージですので実際の染め上がりの色とは多少異なります。

※髪が傷んでいる場合は、通常より染まりやすく、また、色が抜けやすくなります。
※髪が非常に傷んでいる場合は、染まらないことがあります。

【製造販売元】株式会社メディカライズ 東京都千代田区麹町2-7半蔵門ビル